# 信州昆虫資料館報 No.17



令和3年4月10日発行 信州昆虫資料館 〒386-1601 長野県小県郡青木村田沢1875-6 ☎ 0268-37-3988·fax 37-3964 開館 4月中旬~11月30日 火曜休館/高校生以上300円・中学生以下無料 青木村役場 商工観光移住課 ☎ 0268-49-1011

# 本年のスケジュール 4月17日(土) 10時開館

# 多様性の星 地球甲虫展4月17日出~7月25日田

伝説のロックバンド、ザ・ビートルズ(The Beatles)の 名前は、地球上最多種でもある甲虫(Beetle)に由来します。 栃木県の昆虫愛好家、新部公売さんの長年の標本コレクショ ンとザ・ビートルズの写真・パネルなどを展示し、生物多 様性への想いを深めます。

7月25日 最終日、午後1時半~3時半 The Beatlesのレコードコンサートを開催します。

> ♬ お楽しみに♪♬ 解説:新部公売さん

要予約 40名・大人500円 (入館料込み) 中学生以下100円 予約のお電話をください。 (4月17日生)~ ☎ 0268-37-3988 火曜休館)







ポスター

ユニークな標本箱

#### 5月16日田 風穴と(古木桜)ハイキング

募集20名 要予約

集 合 10時 道の駅あおき ぷらっとホーム

参加料 大人500円(昆虫資料館入館券含):中学生以下100円

持ち物 飲み物・昼食

服装 トレッキングシューズ等・長そで長ズボン・

帽子など

大正時代に作られた蚕種 (蚕の卵) の保存管理庫である 村松の風穴を見学します。近くの古木の桜が見られるとい いですね。道中、山の岩石・虫・植物などを楽しみます。





風穴内見学

玉ねぎ石の説明

#### 6月中、蚕の飼育をします。

卵から繭になるまでを観察しましょう。今年は幕末から明 治にかけて欧州への輸出の一大ブームを引き起こした「青 ○ という品種の蚕を飼います。





# 森遊び・草遊び・虫遊び

日時はお問合せ下さい。







クズの茎の弓矢

ススキのバッタ

ほう葉のカザクルマ

# 8月中旬 わくわく昆虫採集・標本教室 16時~18時

募集10名 小学生対象 要予約

インストラクター:田下昌志さん(日本鱗翅学会)他 参加料 1.000円 (保護者1名の入館料含)

周辺で虫採りし、ふしぎな模様や形を感じながら、自分 の手で標本を作ってみましょう☆当館で保存してある虫も あります。





標本作業の様子

出来上がった標本

#### 8月中旬 夜間昆虫観察会 19時半~22時

募集25名 要予約 インストラクターが付きます 参加料 大人500円・中学生以下100円

毎年恒例 夜間昆虫観察会。灯火の白布に集まってくる 虫たちを観察します☆飲み物・虫よけスプレー・虫刺され の薬・懐中電灯など各自ご用意ください。







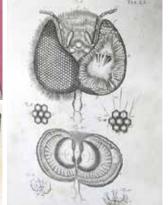


夜間昆虫観察会と灯火に集まる虫たち

# 10月1日金~11月28日田 所蔵本展

当館の貴重な所蔵本・文献などを公開します。1600年代 に印刷された英国と日本の本、明治・大正期・昭和期に発 行された図鑑や書籍各種、雑誌などを一堂に展示します。







江戸時代の百科事典

スワンメルダム銅版による図鑑

#### 10月 秋の森遊び草遊び虫遊び

日時詳細はお問合せ下さい。

秋の山を歩き、植物や虫たちの様子を観察します。さまざまな形のどんぐりを拾い、名前を調べましょう。

# 11月28日 山に人にありがとう会 10~14時

募集25名 要予約 大人500円 (お芋・入館料込)

参加者皆さんで当館周辺の枯れ枝・枯れ草を刈り、木に巻き付いているツルなどを外しての、森の手入れをし、一年の無事を感謝します。集めた枝などを燃やしての焼き芋会で閉館になります。





#### 令和2年(2020)を振り返って

新型コロナウイルス感染防止対策により、春の開館を6月1日に延期しました。

# 6月1日 オープン

6月は生き物たちが繁殖する季節。すでに当館周辺では ウスバシロチョウ、キバネツノトンボ、春ゼミ、ダイミョ ウセセリ、マメコガネ、ヒョウモンチョウ、アオバトらの 賑わいが観察できました。

春蚕の飼育。カンボジアやタイなどが発生地の蚕と、幼虫が白と黒のゼブラ模様の蚕の2種類を飼育しました。珍しい模様や色にびっくり。





蚕の繭作り

クロシマ種

### 6月7日 周辺の自然観察会 参加10名

案内:地域おこし協力隊 野中海雄

裏山の森を皆で歩きました。ウリハダカエデやマムシグサにびっくりする若いお母さんや子供たち。最後にエノキの下のオトシブミ(丁寧に葉で包まれた幼虫の家)を見て頂き、館内のオオムラサキ、庭のオオムラサキ、蚕の成長、他さまざまな生きものたちの姿を観察しました。





観察会の様子

オオムラサキ僕の勲章

7月9日 県立歴史館の白沢先生にお越しいただき、蔵書の保護対策について教えて頂きました。





# 7月12日 草花で遊ぼう I 参加者20名 7月23日 草花で遊ぼう II 参加者18名

インストラクター:野中海雄さん

散歩しながら葛の葉やホウの葉、ススキの葉など採って、 クズの葉鉄砲、ホウ葉のカザグルマ、ススキで弓矢などを 作り、両日ともに、参加の親子さんはじめ皆で楽しみました。



# 7月24日 最後のオオムラサキ羽化

庭先やロビーで静かにオオムラサキが空に舞い上がり、 時に戻ってきて、高い梢の葉に卵を産んでいる様子がお盆 近くまで続きました。

オオムラサキ羽化



#### 8月8日 昆虫の講演と夜間昆虫観察会

参加者30名

講演:田下昌志(日本鱗翅学会理事)

インストラクター:田下昌志・脇田健介・

谷中一夫氏(鱗翅学会・日本昆虫協会長野支部等会員)

田下さんによる虫の不思議な話を聞いた後、灯火に集まる虫たちの観察をしました。田下さんと参加者のご家族からクワガタムシ・カブトムシのプレゼントあり、子供たち

大喜び。





夜間観察

田下さん説明





# 8月22日 草花遊びⅢ

参加者8名

ススキの葉で見事なバッタ が出来ました!!



#### 9月

青木保育園年中・年長の皆さんが見学に来ました。かわいいお客様、大歓迎!!



・今年初めて蚕の飼育を体験した親子さんグループが、座繰りと真綿作りをしました。





# 9月27日 「村松の風穴」ハイキング参加者25名10月24日 十観山登山参加者16名

昆虫資料館は十観山の8号目あたり。好天に恵まれ久し ぶりの登山でしたが、全員無事登頂しました。



### 11月

青木小学校3学年の皆さんが見学に来ました。 皆さん真剣にメモやスケッチをしていました。





クワガタ研究中

アカハライモリと少女

# 11月29日 山と人にありがとう会 参加者17名

和やかに無事終了しました。

#### 令和元年(2019)を振り返って

#### 4月20日 春のオープン

#### オープニングコンサート

2月に永眠された故小川原辰雄(昆虫資料館創設者)氏 を偲び歌手**小林干穂子**さんの唄を聞きました。

また蝶仲間の**茅野實**氏、**野平昭子**氏が、なつかしい思い出を語られました。



### ・5月26日 恒例自然観察と風穴ハイキング

- ・6月中蚕の飼育
- ・7月 繭から生糸を引く





#### ★8月10日·9月7日

# 「昆虫採集・標本教室・夜間昆虫観察会」&あおきCRAFOODプレイベント

講師 安達誠文さんと子供たちが、周辺の野や森に入って 昆虫採集をした後に、館内で標本教室。講師の指導ではじ めての標本つくりに真剣なまなざしでした。

#### CRAFOODプレイベント

クラフードは、村の工芸作家の皆さんによるミニマーケットで、当館の夜間観察会に合わせて展示しました。昆虫資料館ロビーに木のおもちゃや革の財布、藍染めショールやかご、小物さまざまが並び、販売され、コーヒーやテイクアウトの夕食も並びました。



# 11月 恒例「山に人にありがとう会」

小春日和の山の手入も無事終わり閉館。



# コラム …………………………column

養蚕そのものが始まったのは5千年ほど前の中国。絹は中国から朝鮮を経て、弥生時代後半には日本に伝来したようです。庶民が養蚕を行うようになったのは江戸中期で、全国各地で養蚕が始まり、上田藩でも大いに推奨します。

塩尻村の藤本善右衛門らは、在来種と天然のクワコ(蚕の原種)を交配することで、より丈夫な品種を開発しました。(大正時代の小県郡史) その一つが「青白」です。蚕の病気が広がって壊滅状態になっていたヨーロッパでは、その「青白」蚕種を大量に求めたため、売り手市場となり、上田から横浜、開港した横浜から船に乗ってヨーロッパへの輸出の黄金期を迎えるのでした。

「日本近代経済の父」と呼ばれる実業家渋沢栄一は、天保11 (1840) 年に埼玉県深谷市の藍玉製造・販売や養蚕を手掛ける豊かな農家に生まれ、若いころは藍玉行商で東信地方に何度も訪れておりますが、深谷の実家でも「青白」品種を取り入れていたかもしれないですね。